

むろと元気塾Ⅱ

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

社会施設の親子を対象に、自然体験活動を通してコミュニケーション力のアップや自己肯定感の向上を図る。

○ 実施期間

平成30年10月13日(土)～平成30年10月14日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

21名/30名

○ 活動プログラム

10月13日[土]	10月14日[日]
10:30 安芸和光寮発	6:00 起床
11:30 室戸ジオパークセンター着 ・あいさつ ・自己紹介	7:15 朝のつどい
11:45 昼食	7:30 朝食
12:30 室戸ジオパークセンター見学	9:00 自由時間
13:30 室戸ジオパークセンター発	10:30 かつおのたたき体験 場所:野外炊事場 指導:瀬沼次長
13:40 むろと廃校水族館着・見学	12:00 昼食
15:00 むろと廃校水族館発	13:00 おわりのつどい
15:30 自然の家着	13:30 自然の家発
15:40 入所 OR、荷物をくろしお棟へ	14:30 安芸和光寮着
16:00 流木クラフト	
17:30 タベのつどい	
17:45 夕食・自由時間	
19:00 星座観察 場所:展示棟 中止:ナイトハイク	
21:00 入浴	
22:00 就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

1日目、室戸世界ジオパークセンターやむろと廃校水族館の見学を行った。親子でいろいろな施設に出かけることなどがあまりないということを知っていたので親子で楽しめる内容を考えて、自然の家に入所してからは、流木クラフトを行い、親子でキーホルダーを作成した。夜は、自分のことは自分でできる力、自立する力をつけるために、ベットメイキングを指導して行った。

<2日目>

2日目、野外炊事棟でかつおのたたきづくりを行った。包丁を使うことがあまりないと聞いていたので、玉ねぎやネギ、かつおを包丁で使って切る活動を多くとった。また、火を使うこともあまりないと聞いていたので、かつおを焼く活動も全員体験をさせた。かつおのたたきづくりを通して自分の食生活を考える機会になった。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・今回のような事業を計画してくれてありがたいです。親子でどこかに出かけることがあまりないので楽しく参加させていただきました。来年もぜひお願いしたいです。
- ・子供たちがいろんな体験ができ、とても楽しそうで、すごくうれしかったです。また参加したいです。本当にありがとうございました。
- ・ボランティアの方々には、子供たちと遊んでいただいて、とてもうれしく、楽しい思い出になったと思います。
- ・子供たちがおもいっきり遊べる活動等があれば良かったかなと思いました。

○ 事業の成果

- ・早寝、早起き、朝ごはんや身の回りの整理整頓など、生活習慣が確立されていない家庭が多かったため、子供たちや保護者の方に、そのことについて話す機会をとった。生活習慣を意識しようとする姿が見られた。
- ・親子で触れ合うことについては、室戸ジオパークセンターやむろと廃校水族館の見学を通して達成することができていた。保護者からは「なかなか親子でこういう場所に連れてくることができないうのですごく楽しかった。」という声を聞いた。
- ・保護者から「来年もこういう活動があれば、必ず参加したい。」という声がたくさんあった。室戸の自然の中で、親子同士で過ごす時間を満喫していたようである。

○ 事業の課題

- ・今回は、安芸和光寮に呼びかけて参加を募ったが、安芸和光寮のように母子寮で今回のような活動を希望している施設が多い。たくさんの施設が参加できるように伝えていく必要がある。
- ・生活の自立や支援を目的に今回事業を行ったが、いろいろな課題を持った家族が多く、細かい支援ができなかったように感じる。安芸和光寮は、施設の家族同士のコミュニケーションが取れていたが、そうでない施設もたくさんある。そういう施設に対して、どういう支援ができるか考えて事業を計画していく必要がある。
- ・今回、海のプログラム（ドルフィンスイムなど）を考えていたがドルフィンセンターが使えず、内容を変更した。元気な子供たちが多かったため、保護者のアンケートでもあったが、子供が体をたくさん動かす活動プログラムを入れればよかった。